

令和6年度 公共工事における 市産品の使用状況に関するアンケート 集計結果

対 象 : 当初契約金額が500万円以上（税込）の工事
527件（令和5年度 549件）

回 答 : 331件（令和5年度 : 397件）

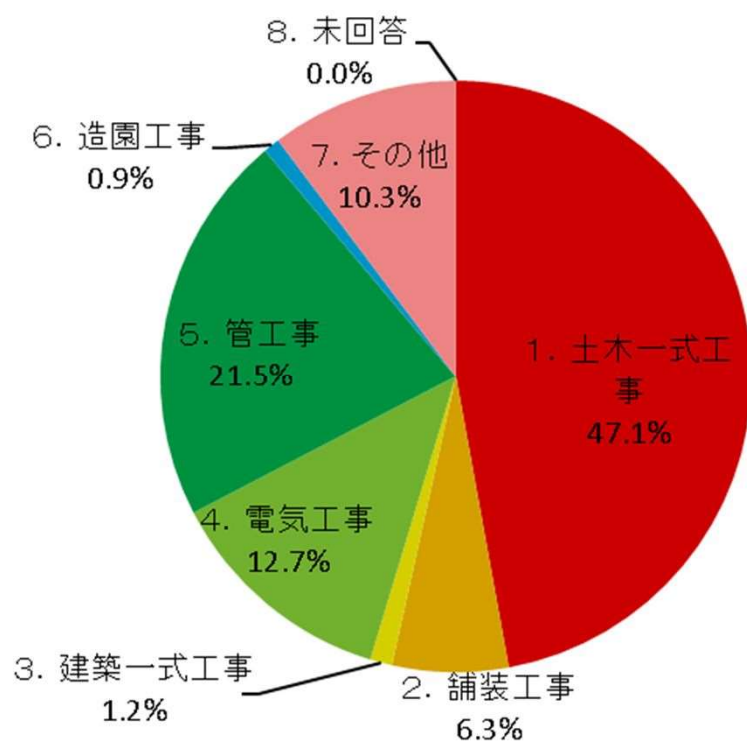
回収率 : 62.8 %（令和4年度 : 72.3 %）

期 間 : 令和6年4月～令和7年3月

問1：今回受注した工事の業種は何ですか？

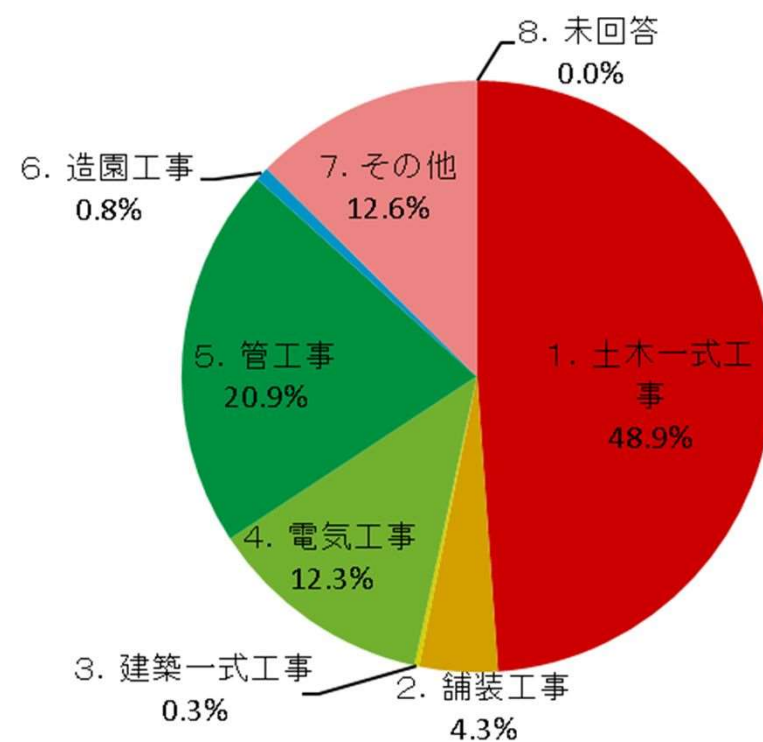
令和6年度

n=331



令和5年度

n=397

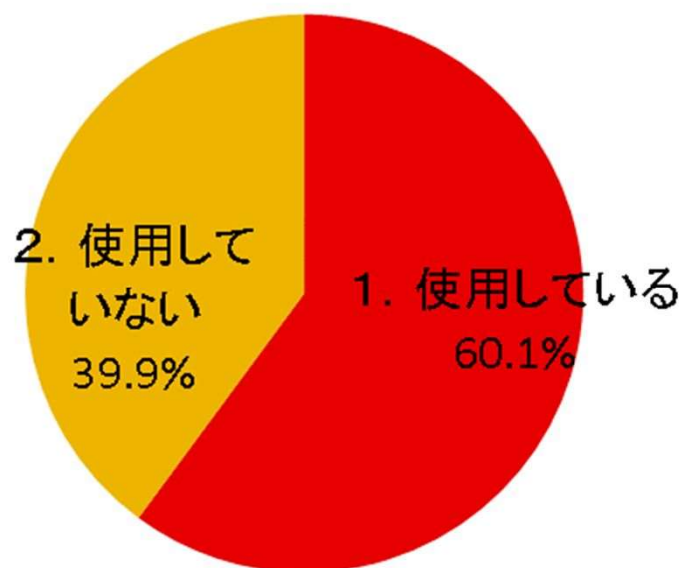


・公共工事の発注で最も多いのは「土木一式工事」である。
続いて、管工事、電気工事、舗装工事、建築一式工事、造園工事の順となった。

問2：今回の受注工事で市産品を使用していますか？

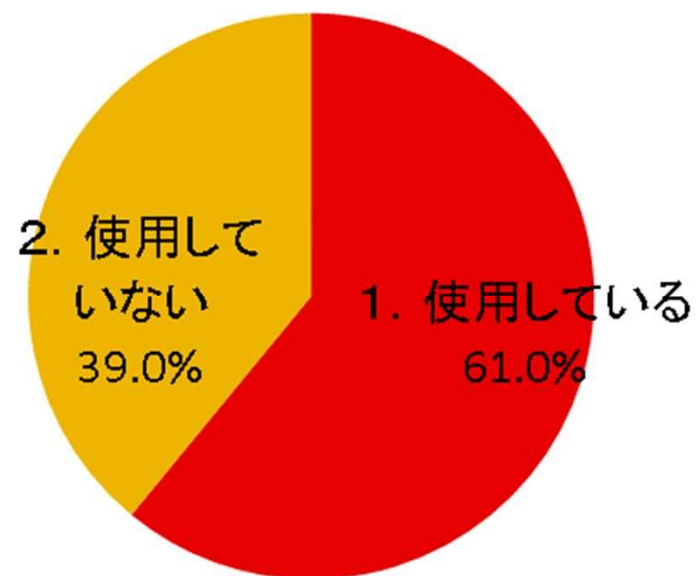
令和6年度

n=331



令和5年度

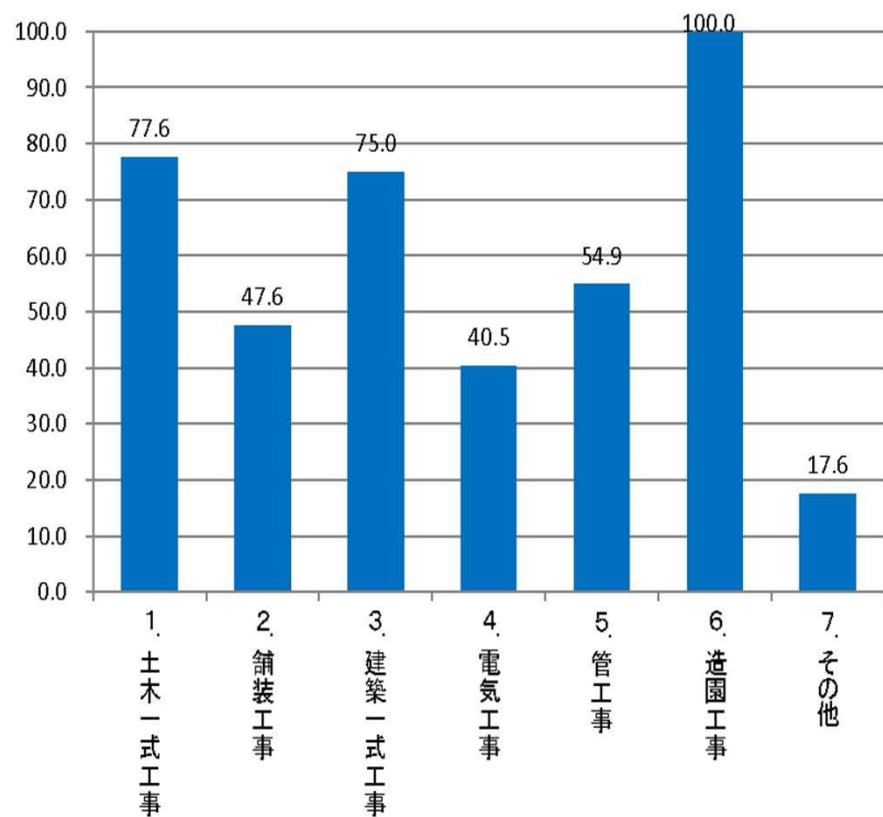
n=397



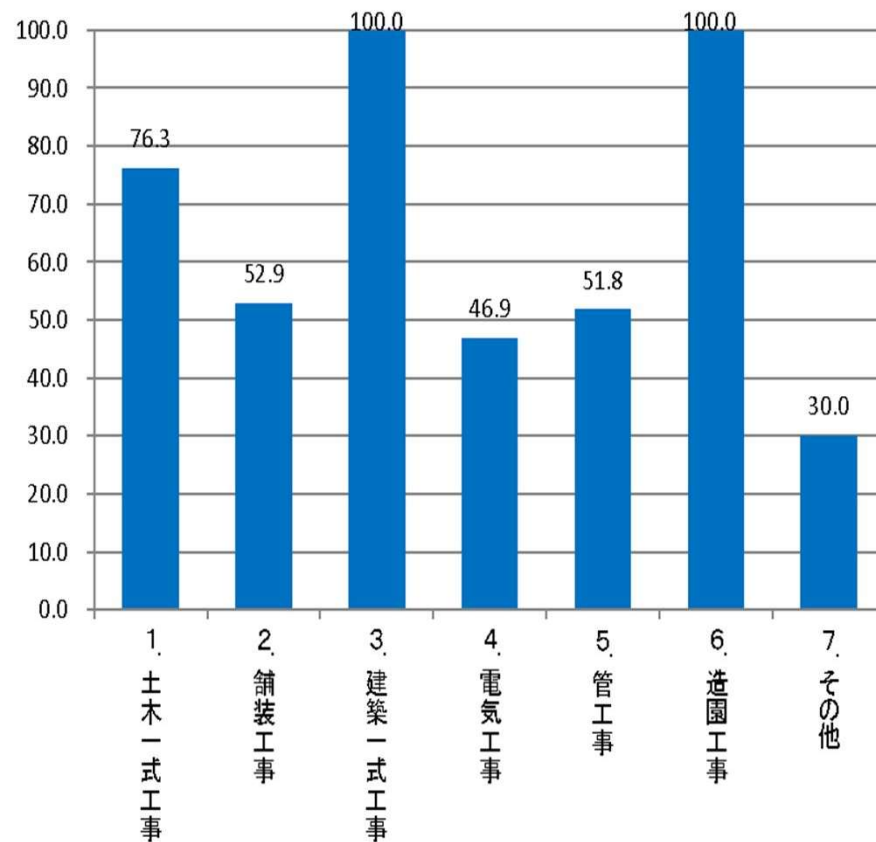
- ・60.1%の工事で市産品を「使用している」と回答があった。
- ・市産品の使用率について、昨年度とほぼ同水準である。

【業種ごとの市産品使用率】

令和6年度



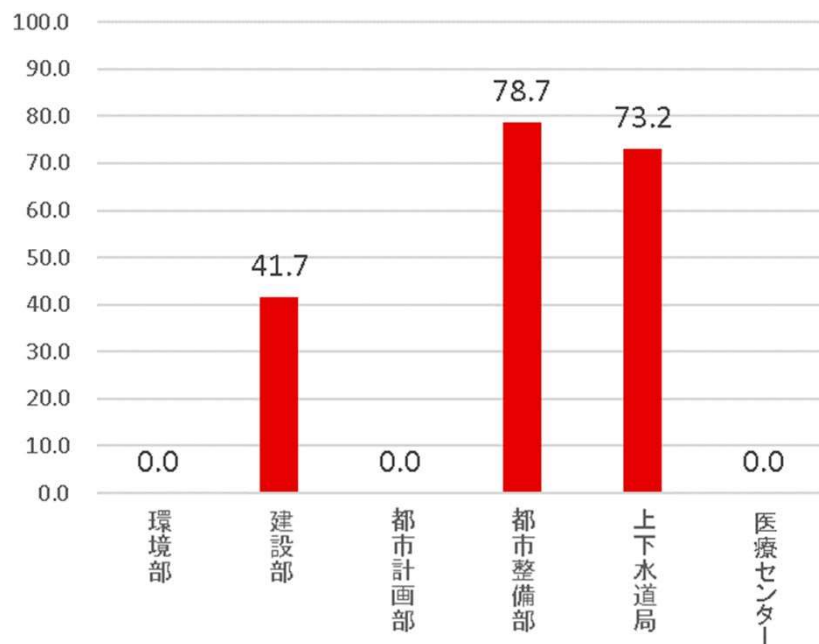
令和5年度



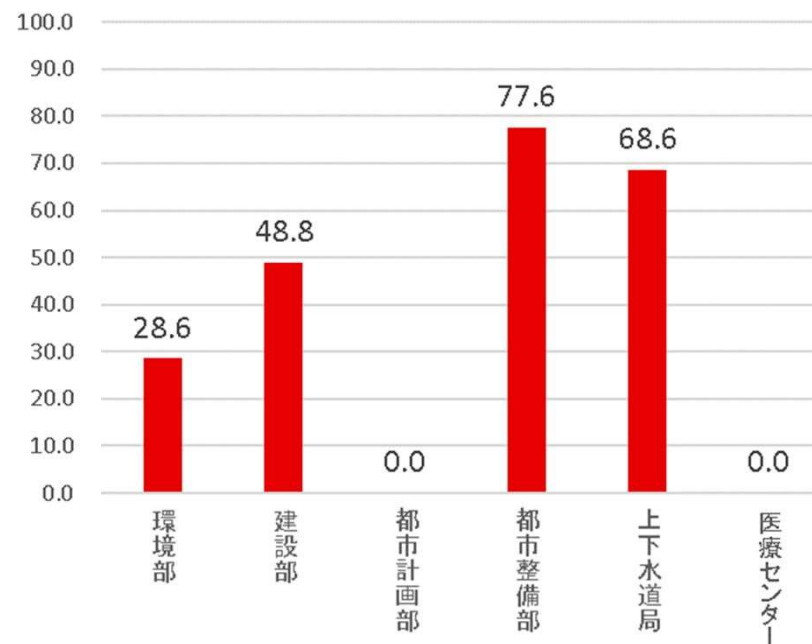
- ・土木一式工事の使用率は77%を超え、高水準で推移している。
- ・昨年度は建築一式工事・造園工事における使用率が100%であったが、建築一式工事において、75%に下がっている。

【部局別の管轄工事に対する市産品使用率】

令和6年度



令和5年度



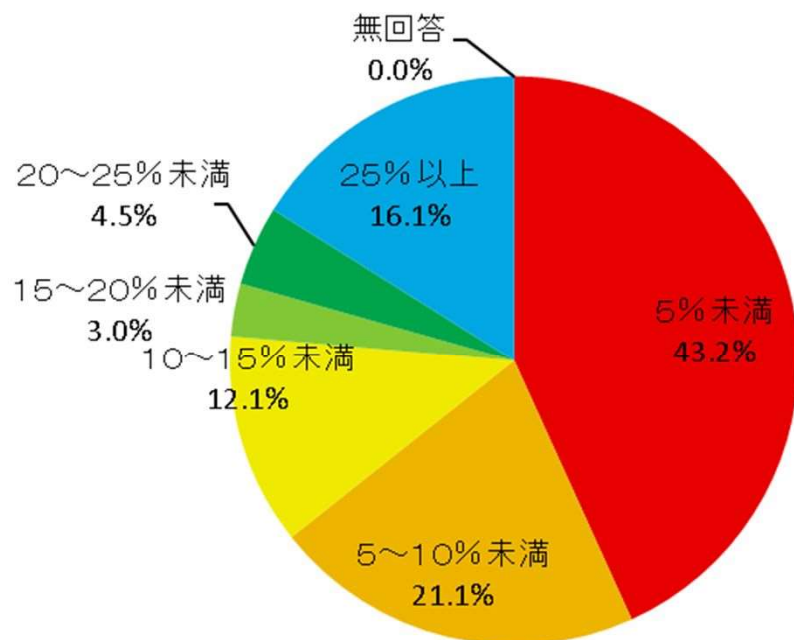
・環境部での使用がなかったものの、都市整備部、上下水道局においての使用率は高水準を保っている。

(赤山歴史自然公園事業が終了したため、R4年度以降都市計画部は0 %となった)

問3：使用した市産品の部材等購入費に占める割合はどのくらいですか？

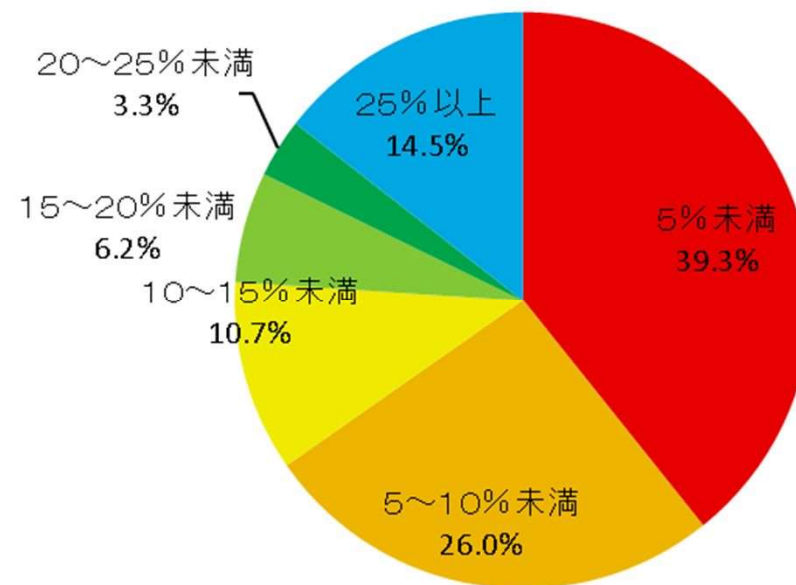
令和6年度

n=199



令和5年度

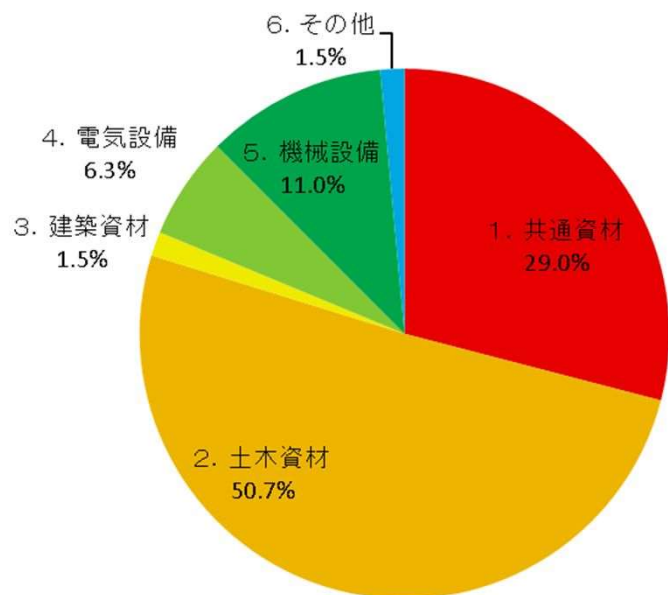
n=242



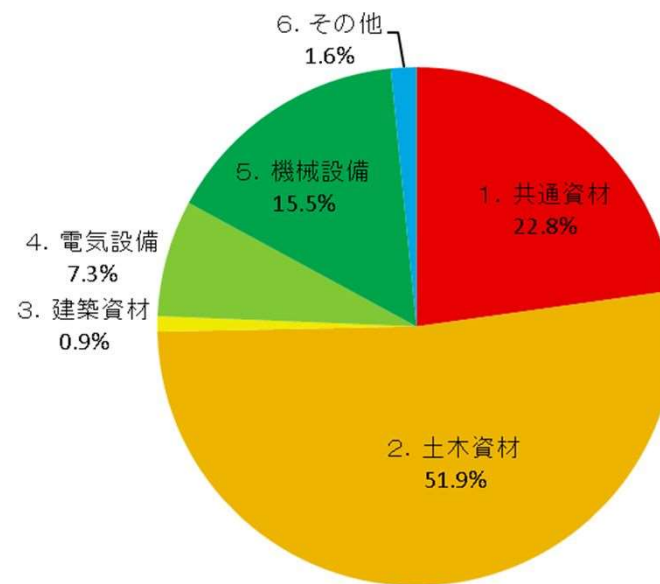
- ・「5%未満」の回答が一番多く、次いで「5～10%未満」であった。
- ・「25%以上」使用しているとの回答も比較的多く、1割強を占めている。

問4：使用している市産品の資材は何ですか？（複数回答可）

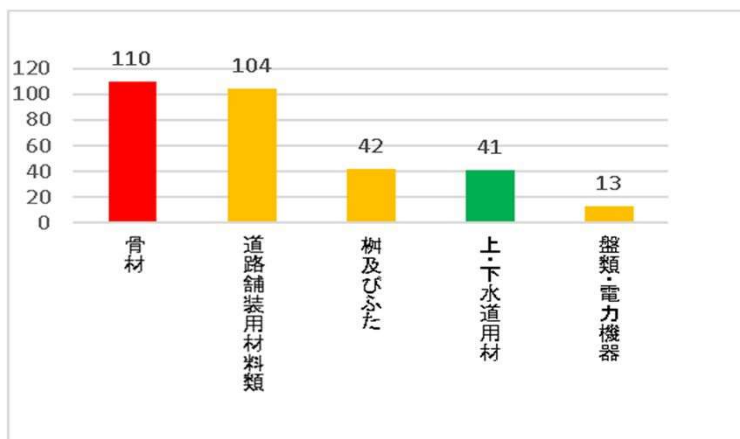
令和6年度



令和5年度



【資材ごとの使用回数＜上位5種＞（令和6年度）】

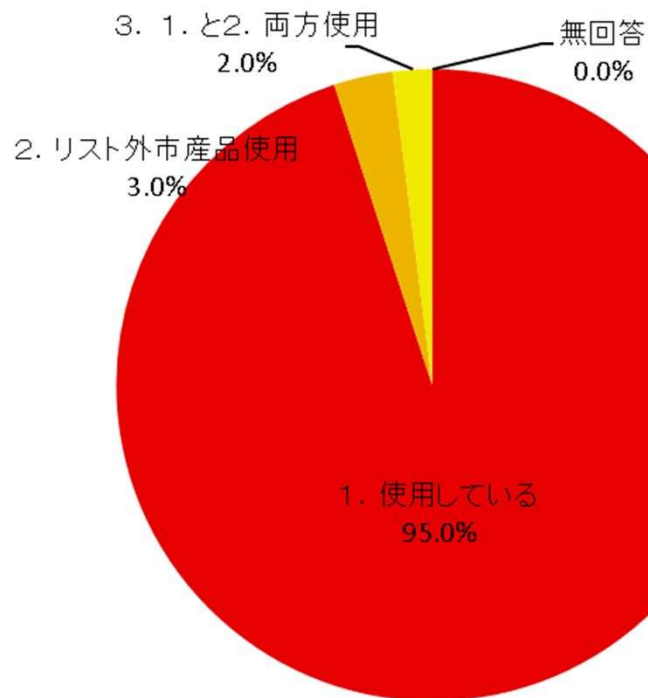


- 一番多く使われているのは、「土木資材」であり、使用部材全体の50.7%を占めている。
- また、全資材のなかで「骨材」がもっとも多く使用されている。

問5：「市産品企業・製品リスト」に掲載されている製品を使用していますか？

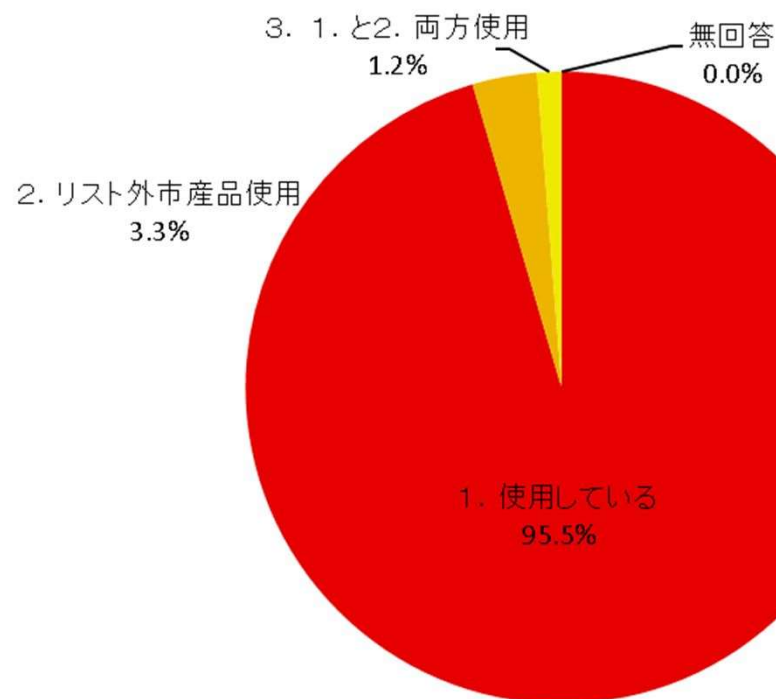
令和6年度

n=199



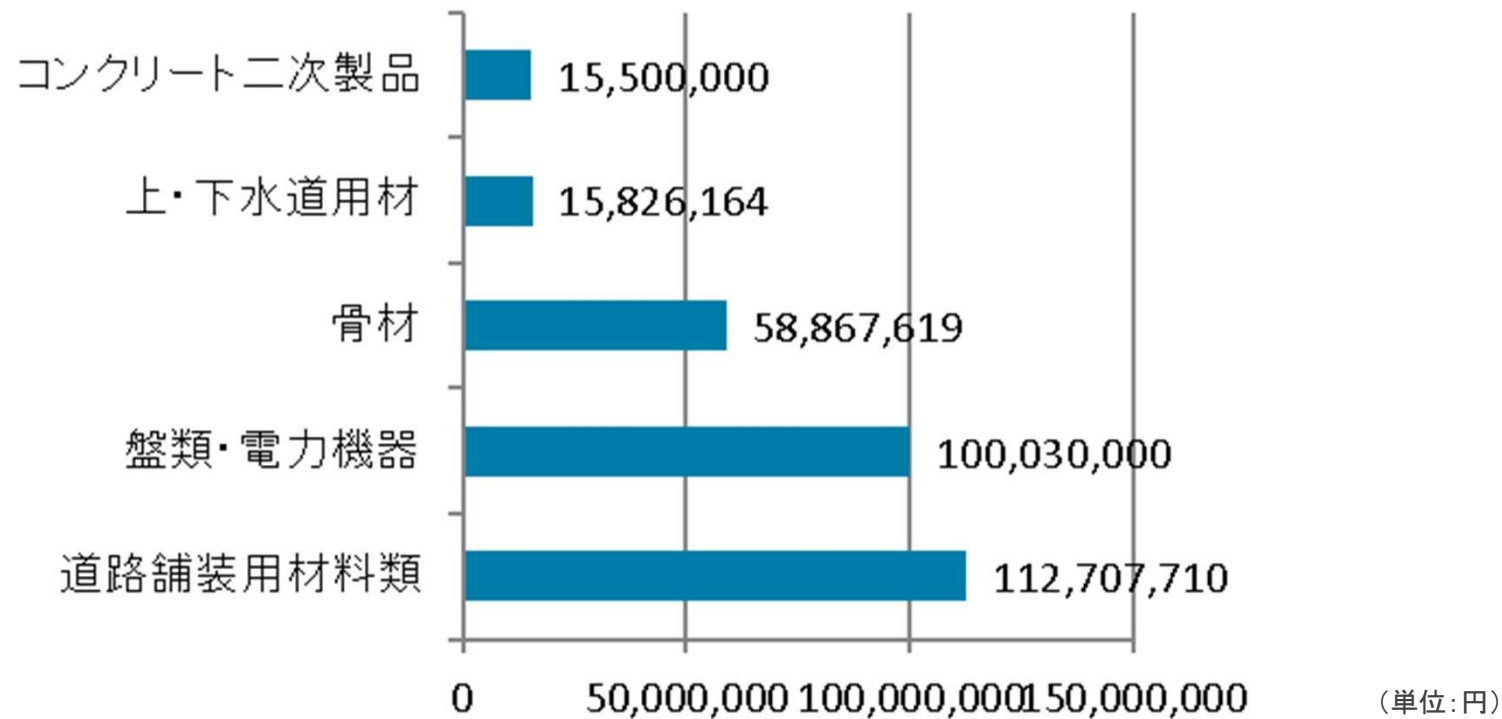
令和5年度

n=242



- ・市産品企業・製品リストの使用は9割を超える。
⇒リスト外の市産品については、リストへの登録を促す必要がある。

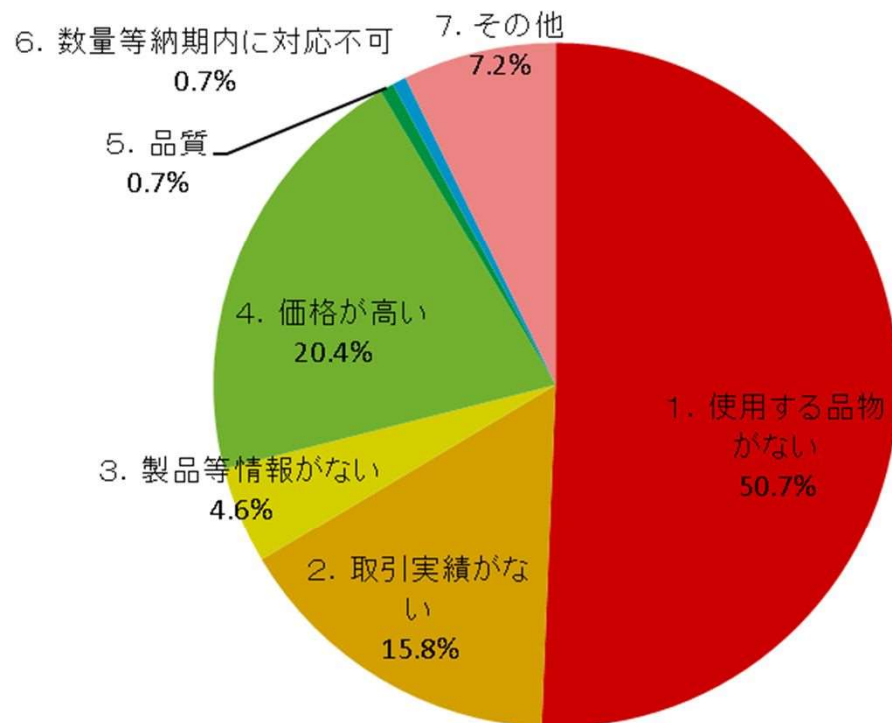
【市産品への使用金額について】



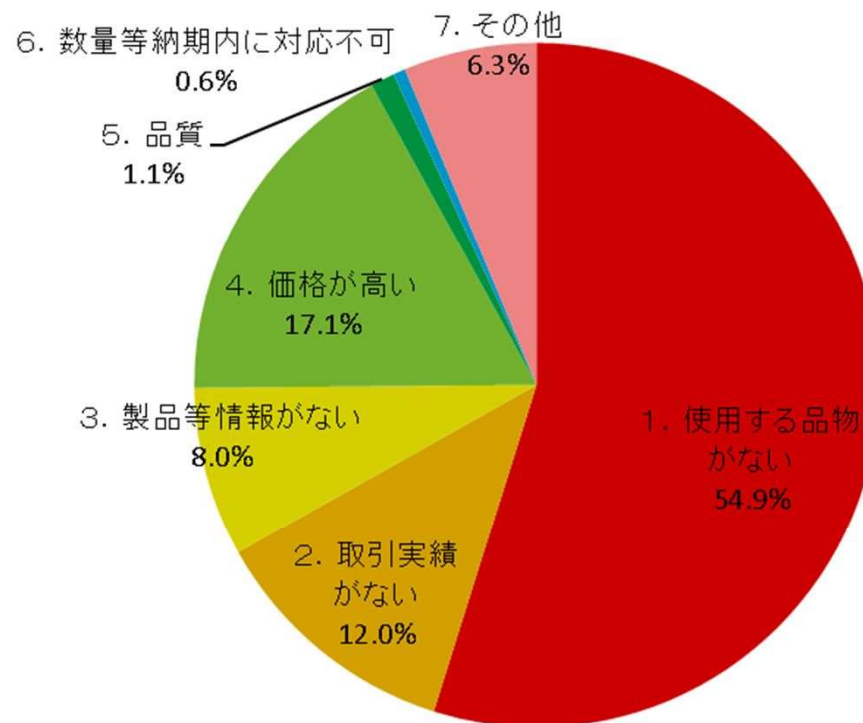
- ・資材ごとの使用金額上位5種は上記のとおり。
道路舗装用材料類が、112,707,710円と最も使用金額が高い。
- ・なお、市産品全ての資材に使用された金額は、357,696,758円。
うち卸売資材は3,890,915円。

問 6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

令和6年度



令和5年度



・使用しなかった理由として一番多かった回答は、「使用する品物がない」であった。

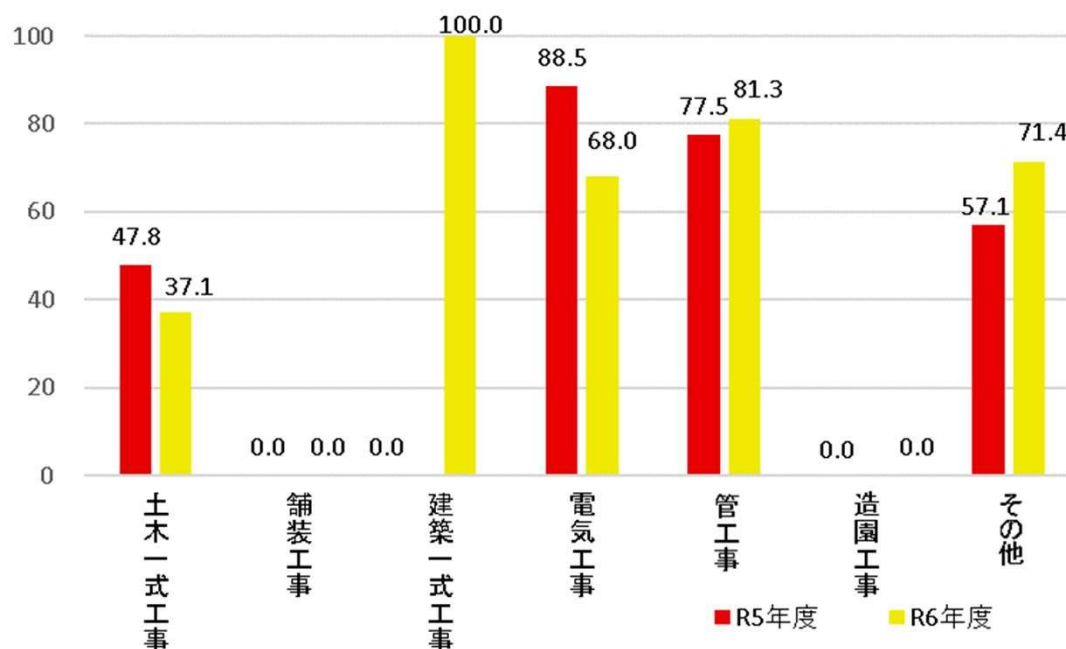
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「使用する品物がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和5年度】 54.9%

【令和5年度】 50.7%

-4.2P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「使用する品物がない」と回答した割合は前年度比4.2ポイント減。
- ・舗装工事、造園工事以外の工事において、「使用する品物がない」という割合は高い。

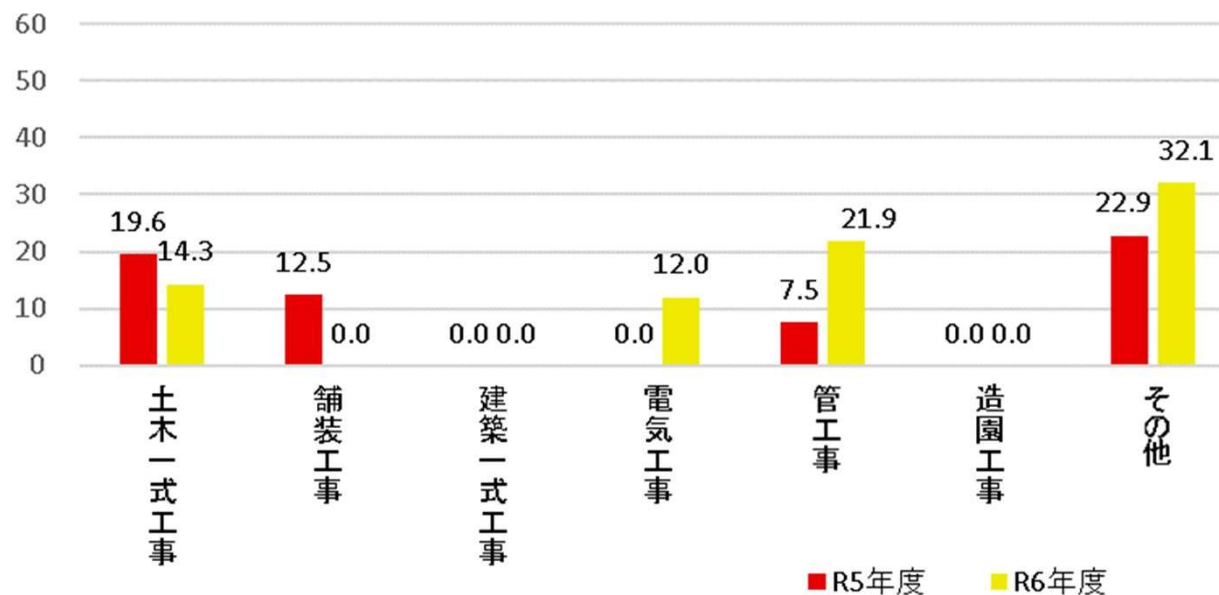
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「取引実績がない」と回答した業種別割合
の前年度比較

【令和5年度】 12.0%

【令和6年度】 15.8%

+3.8P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「取引実績がない」と回答した割合は前年度比3.8ポイント増。
- ・令和6年度においては、「管工事」の割合が高い。

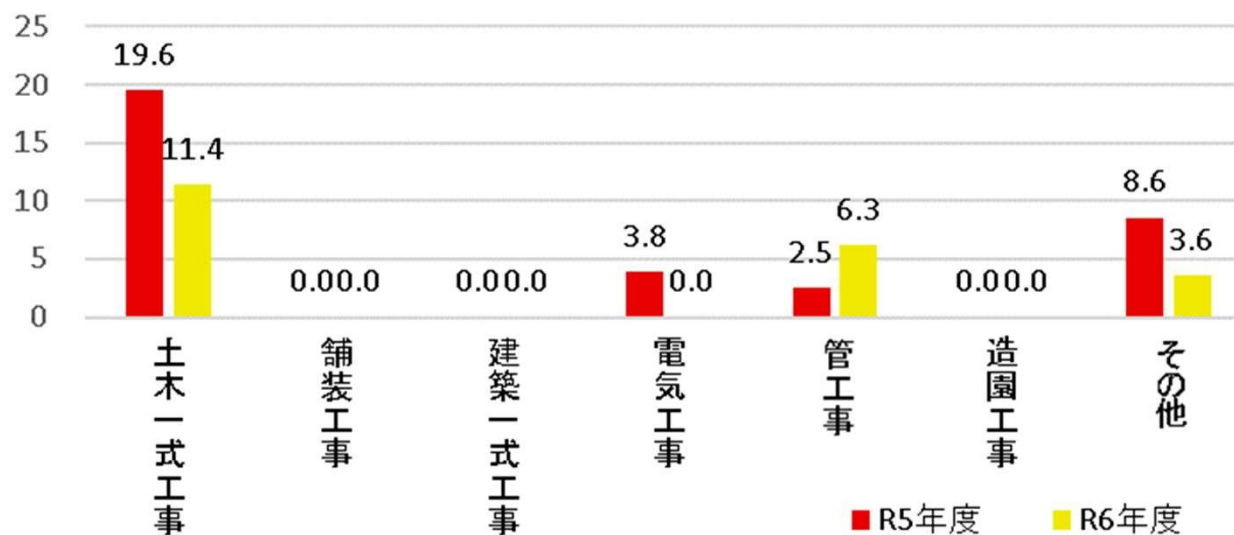
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「製品等情報がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和5年度】 8.0%

【令和6年度】 4.6%

-3.4P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「製品等情報がない」と回答した割合は前年度比3.4ポイント減。
- ・「管工事」において割合が大きく増加した。

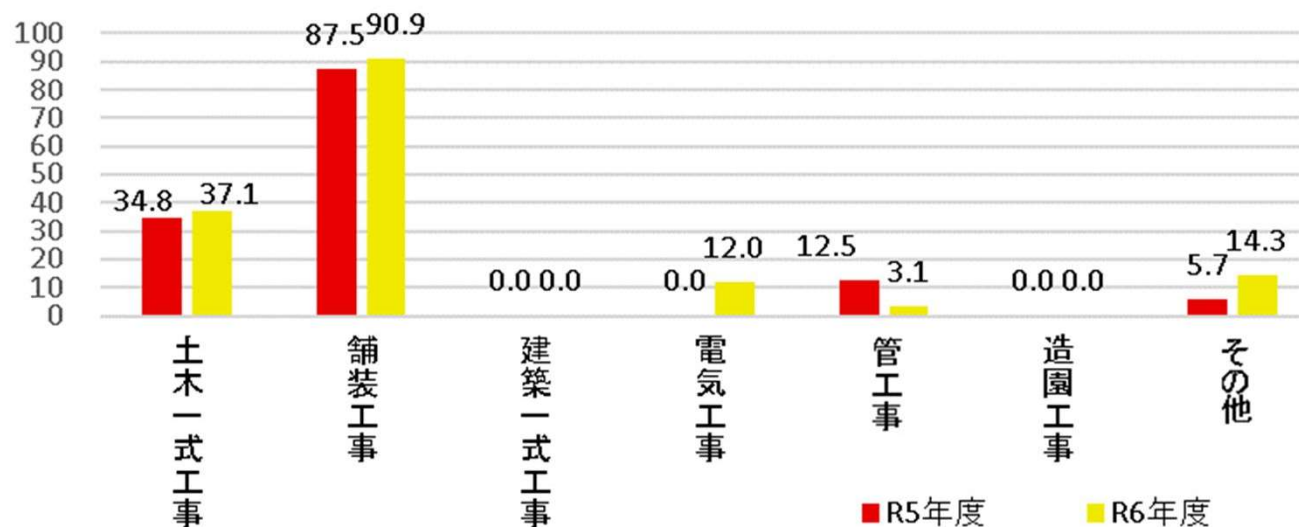
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「価格が高い」と回答した業種別割合
の前年度比較

【令和5年度】 17.1%

【令和6年度】 20.4%

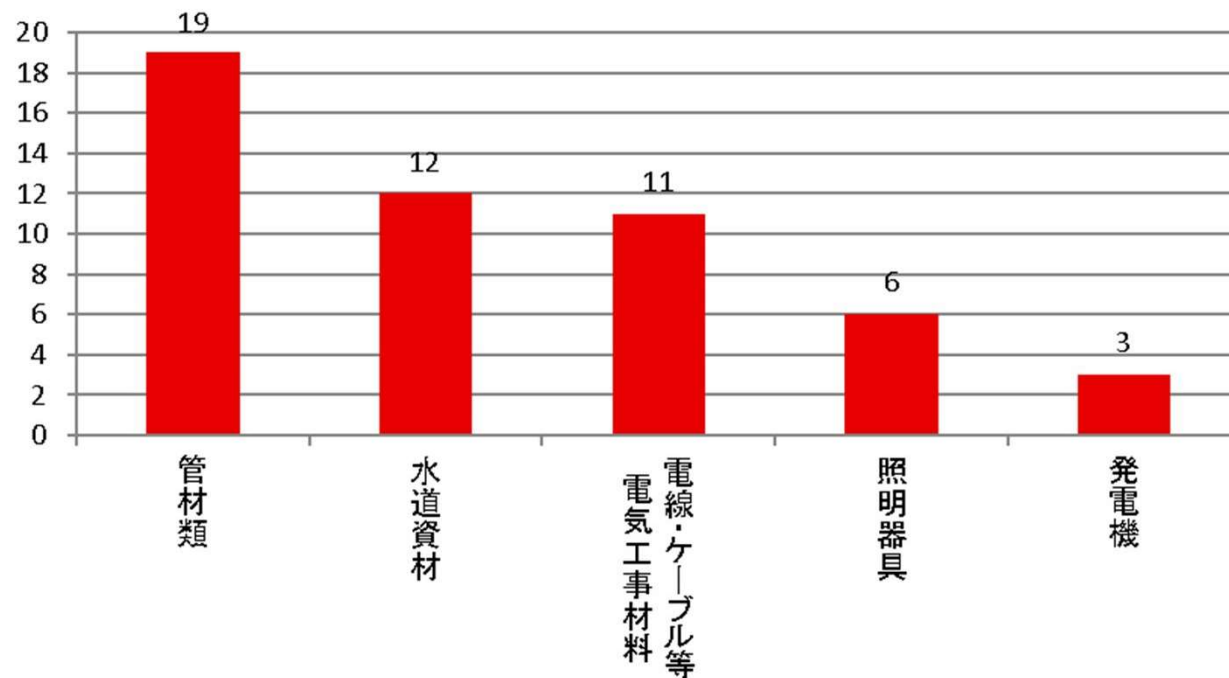
+3.3P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「価格が高い」と回答した割合は前年度比3.3ポイント増。
- ・「土木一式工事」と「舗装工事」において、依然として高い割合がみられる。

問 7：どんな品物が市産品にあれば利用したいですか？

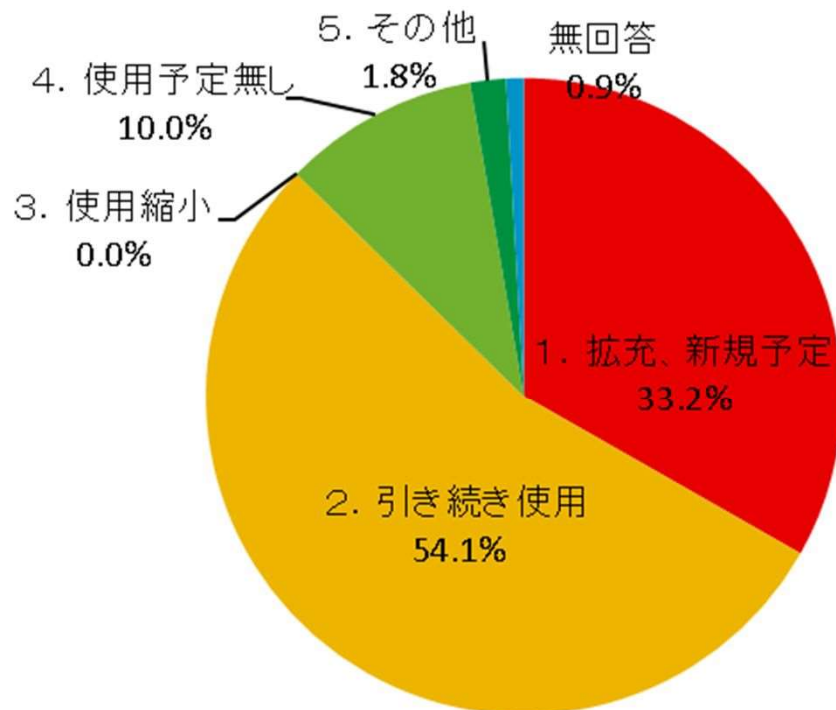


- ・最も回答が多かったのは管材類（19件）
次いで、水道資材（12件）という結果になった。

問8：今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

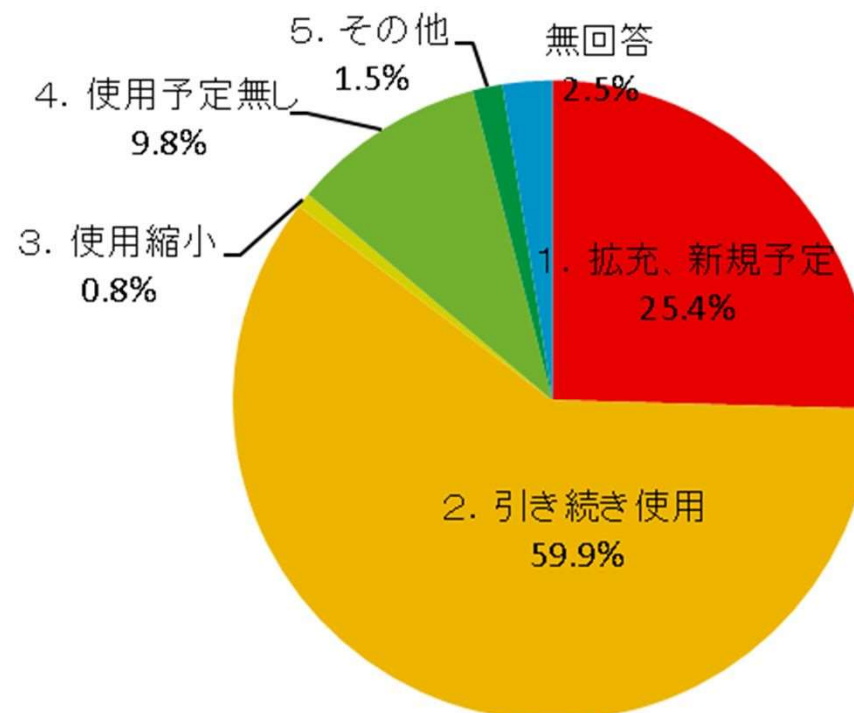
令和6年度

n=331



令和5年度

n=397

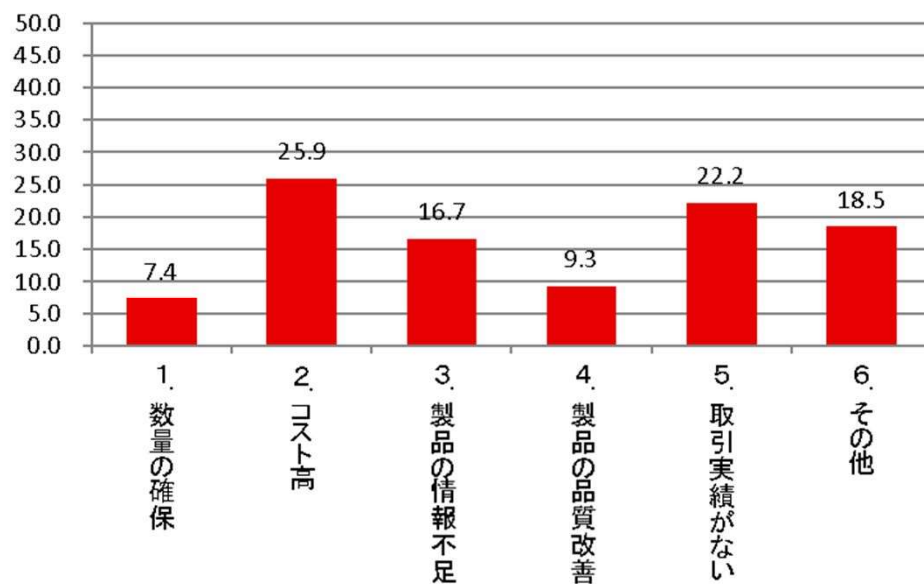


- ・今後、市産品を「引き続き使用する」との回答が一番多かった。
- ・「拡充、新規予定」と「引き続き使用」を合わせると87.3%である。

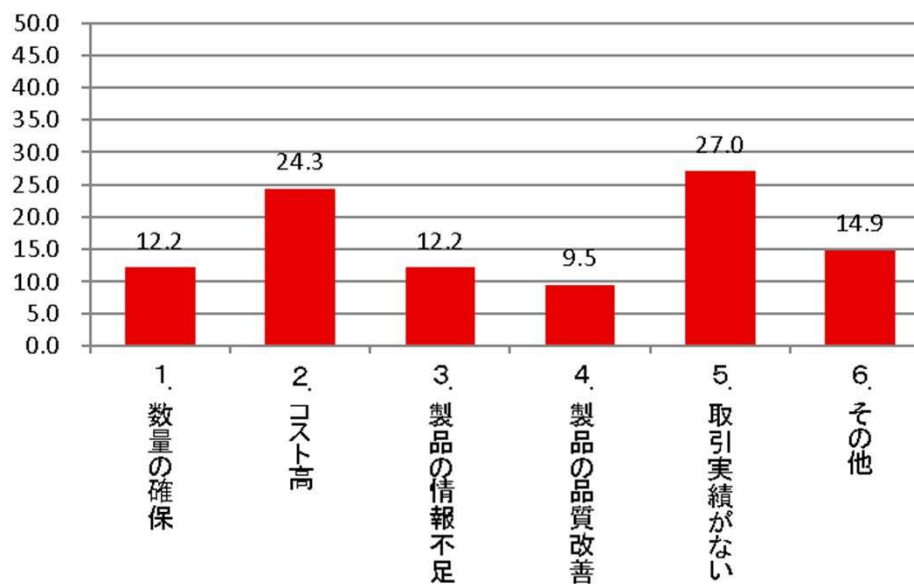
問 8：今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

「使用予定なし」と回答した理由の割合

令和6年度



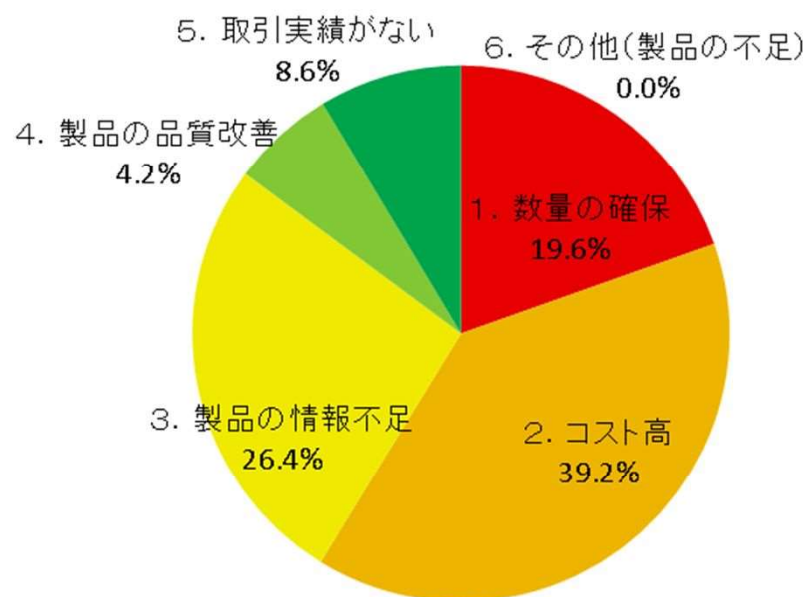
令和5年度



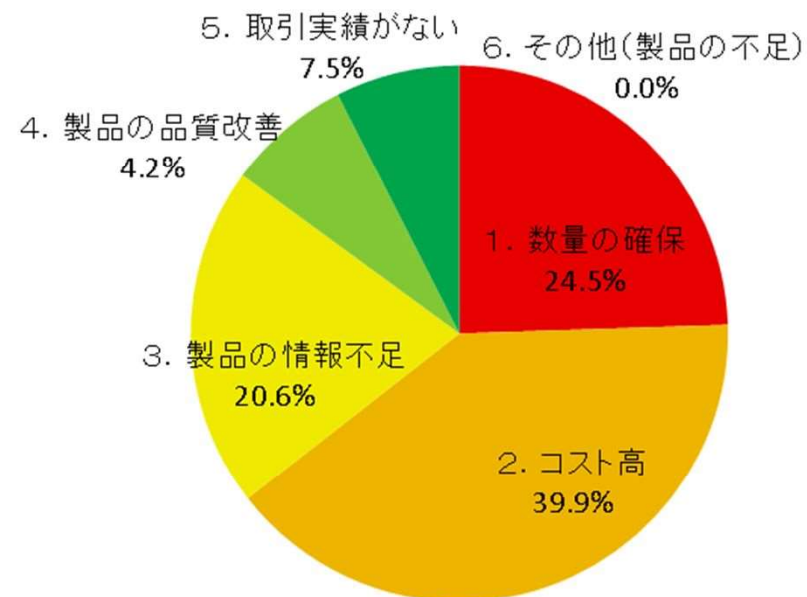
・今年度も「コスト高」と「取引実績がない」が、高いの割合を示している。

問9：市産品の使用における課題は何ですか？（複数回答可）

令和6年度



令和5年度



- ・課題として多く回答があったのは、昨年度同様、「コスト高」「数量の確保」「製品の情報不足」であった。
- ・製品の情報不足については、5.8%増加しており、引続き市産品企業・製品リストの周知をしていく必要がある。

問 1 0 : ご意見・ご感想

【土木一式工事】

- ・今以上に製品の積極的な価格の改善が必要だと思う。

【電気工事】

- ・市の広報紙などで市産品を募集する。
- ・建設業の繁忙に対応した納期に対応ができるかが大きい。
- ・電気工事において市産品で対応できる資材が少ない。また、価格も高くなってしまったため、取入れが難しい。
- ・電材メーカーの市内への誘致。

【管工事】

- ・製品の情報不足が感じられるので、市産品フェア等で大々的に周知していただきたい。

【その他】

ざいこうとも

- ・専門性のある特殊工事で、完全・品質を確保するため、材工共経験のある業者やしっかりした材料を選定せざるを得ない
- ・出来るだけ市内での調達を考えているが、難しい状態である

今後の対応策

- 市産品使用率の向上
 - ・市外製品より価格が高くても選ばれるよう、川口の工業製品の品質をP Rしていく。
 - ・市が発注する全ての工事において、設計書に市産品を例示するよう引き続き努める。
- 工事受注業者に対する製品情報の波及
 - ・市産品フェア開催時に公共工事における市産品の活用事例をパネル展示し、企業情報・製品情報をP Rする。
 - ・リスト登録事業者に掲載情報の更新を促し、取引実績情報・製品情報の拡充に努め、過去に取引が無くても使用しやすい環境づくりを行う。
- リスト登録事業者へのアンケート結果の周知
 - ・アンケート結果をリスト登録事業者に周知し、工事受注業者の傾向を情報共有する。
- 登録企業数及び製品情報の拡充
 - ・アンケートの結果をもとに、公共工事において需要はあるが市産品リストにおける情報が乏しい製品について、当該製品を製造している市内業者を調査し、登録を促していく。